昭和43年3月1日第3種郵便物認可

＜12月定例市議会＞
収入役に栗盛周蔵氏 監査委員に黒沢宗一郎氏 の選任に同意

12月7日に開会した12月定例市議会には，45年度各会計の決算認定のほか，46年度の各会計補正予算案などの案件が提出されましたが，各会計の決算関係については，特別委員会をつくって，閉会中に審査することにしたほかは，いずれも原案どおり可決し，12月15日，9日間にわたる日程を終えました。

なお，市議会最終日に提案した欠員中の収入役，監査委員の選任についての人事案件では，収入役に栗盛周蔵氏，監査委員には黒沢宗一郎氏がそれぞれ市議会で同意されました。

＜栗盛収入役の経歴＞

本籍　大館市向町4番地

昭和17年県立大館中学校から秋田鉱山専門学校に進み，昭和20年同校を卒業と同時に大館税務署に勤務。

昭和28年，同署を退職，同年から秋田県庁に勤務，今回の収入役就任の直前まで鹿角財務事務所長であった。

昭和42年8月1日から45年3月31日までの2年7カ月間県から巡遣され本市の財政課長を勤めた。

（写真）　栗盛　周蔵氏

〈東北新幹線〉
開通の実現を期す

東北新幹線，東京～盛岡間496㎞は昭和51年の完成をめざして，昨年11月から工事が開始されました。

このような情勢の中で，盛岡と青函トンネルを結ぶルートの建設計画は，まだ決定されておりません。このルートをいかにすべきかは，私ども郷土の将来にとって大きな課題となって参りました。

このため，昨年7月16日，東北新幹線秋田県側ルート誘置促進期成同盟会を結成，9月27日には，県当局の力強いバック・アップと弘前市を中心とした津軽圏域と手をとり合い，強力な誘置運動を展開して参りました。

その理由は，情報化時代といわれる今日，高速自動車道新幹線などの高速交通体系の整備がなければ到底地域の発展は望めません。今まで，とかく置き去りにされてきた当地域にとって，このルートの実現は豊かな未来をひらくためにも是非とも必要なことです。そして，私どもが秋田，津軽ルートを強調する根拠は太平洋側に比して，つぎのような有利性があるからです。

＜秋田，津軽ルートの有利性＞

❶距離的に，片道50㎞近かいこと。

❷沿線人口が約91万人で，太平洋側より約13万人多いこと。

❸地質的に太平洋側は，シラス特有の軟弱な地盤であり，また，地震の多発地域であること。これは列車の安全走行と路線保守などに極めて大きな影響を及ぼすものと考えられます。

❹地勢上から見て，本県側ルートは山岳や末利用地が多いので，用地買収が容易であること。また，北海道を結ぶ路線として，いずれのルートも雪の征服が重要な課題となるが，奥羽の山なみを貫くトンネルは，将来にわたる積雪対策となること

❺秋田県側ルートは，国立公園十和田，八幡平を中心として，全国屈指の観光資源に恵まれておること。

昨年12月，自然公園審議会の津軽国定公園答申により，正式指定は間ちがいないとみられ，観光客が飛躍的に増大するものと見込まれること。

以上のように，秋田，津軽ルートが実現すると，東京までは3時間台で結ばれることになり，産業，文化などは一変しはかり知れない恩恵がもたらされるものと期待されるところであります。

この未来をひらく，秋田，津軽ルート実現について，市民の皆さんの絶大なるご支援とご協力を切にお願いするものであります。

（東北新幹線誘置期成同盟会事務局
市役所企画室内）

新しい 民生（児童）委員きまる

さる12月1日づけで，156人の民生児童委員が任命されました（任期3年）

任命された大館市の民生委員の総数は156人で，3年前に比べ4人の増になっています。

156人のうち，男性が110人，女性が46人で，3年前に比べ，女性が12人増え，平均年令も前回の53.6才に比べ，今回は49.6才で4才も若がえっているのが特徴です。

＜民生委員の仕事＞

保護が必要な人や家庭を保護指導したり，ご家庭のいろいろな問題点について相談を受けます。

このような仕事に専念する民生委員の方々は，社会奉仕の精神が厚く，人格的にもすぐれている方々ばかりでありますので，家庭上の困りごとなど，お気軽に相談してください。

なお，紙面の関係上民生委員の方々の氏名は，今回から2回にわたって掲載します。（※印は今年新らたに任命された人）

＜大館地区＞

（氏名）	（担当区城）
相沢重次郎	御成町3丁目
石田　半治	御成町1丁目（1・2・3区）
菅原　清吉	有浦3丁目
日景　ケン	有浦1・2丁目
川連　ミサ	中道，清水町
名村　みつ	御成町2丁目・市営住宅
三政　達雄	御成町5丁目
※小坂　とみ	御成町4丁目
※安達　文明	御成町1丁目（4・5区）
加藤　信三	末広町
長谷川　斉	川原町
武田　金吉	鉄砲場，通町
菅原　淳一	独鈷町
田畑アイ子	栄町
※河田　健蔵	水門町
※工藤　一郎	田町
※米沢　キノ	大下町，古川町
高橋　広治	弁天町
渡部　正一	中町，馬喰町
加藤　政雄	大町1・2区，寺町
菅原　マツ	大正町，新富町
村上　扶美	御坂町
越前屋　清	城西町，住吉町
若松　正	豊町
※椿田　礼子	常盤木町，仲見世
石川　栄治	東町
佐藤　三郎	南町
池田　静江	昭和町
小松　栄治	一中通，神明町
越前　鉄郎	新地，泉町
有沢清三郎	南神明町
金沢　文治	中神明町
※伊藤ヤスエ	小館町
※浅利　敬三	東新
工藤　淳豊	桂城
渡辺ヤスエ	長倉町，愛宕町
福原カチヨ	金坂，長根山
菅原　忠雄	東台
佐藤　孝一	赤館
今林　中江	相染町
※木村　チヨ	部垂町
成田　セツ	柄沢
竹村　フミ	田代町1区
高橋　ミネ	谷地町，旭ケ丘，たつみ団地
武田　セイ	桜町
外崎　守	田代町2，3区，曙町
丸山　金	向町，一心院
竹村　フキ	新町，新町アパート
※石井　アサ	南ケ丘，雇用促進住宅

＜釈迦内地区＞

（氏名）	（担当区域）
猪又　栄治	小釈迦内
菅原　勇	板子石1区，上袋町
※菅原　清一	板子石2区
※小池　コト	日景町1区2区，向羽立
日景浅太郎	獅子ケ森1区，日鉱日向台
猪又　次郎	獅子ケ森2区
木村　与勝	大通，中通，上通
日景重之助	山神台
※渡部　米松	長面
上村　セツ	長面袋
※三浦　卯一	商人留
畠山弥一郎	松峰
※菅原キミエ	松木1区，2区
※中西　茂	日鉱旭ケ丘，日鉱獅子ケ森
桜庭　ヒサ	沼館1区，2区

＜長木地区＞

（氏名）	（担当区域）
三浦　専治	上代野
※石田　忠一	下代野1，2，3，4区
田中　知子	東二ツ屋，宮袋
※中村　末蔵	大茂内
石垣　定雄	小茂内
※近藤　金治	芦田子
近藤　淑	才の神
田畑助五郎	小雪沢，大明神
岩根重太郎	新沢
石田　忠市	赤沢，黒沢
安部　福治	茂内屋敷，水沢，芋ケ岱
岩間　善作	籠谷
石川　忠	石淵，二ツ屋
中山　清	天下町1，2，3区

市民の皆さんとの対話を深め 謹賀

＜市議会＞

議長	佐藤民二郎
副議長	畠山耕英
議員	柳館邦男
〃	戸田竹雄
〃	石田徳太郎
〃	佐々木正治
〃	成田利一
〃	桜庭末吉
〃	谷地田一雄
〃	湯瀬勝衛
〃	日景助次
〃	畠山広清
〃	奈良友二
〃	工藤良一
〃	安達友一
〃	木次谷務
〃	上村清
〃	伊藤武吉
〃	石垣忠一
〃	岩沢運三
〃	鳥潟哲治
〃	成田耕三
〃	斎藤芳二
〃	築館米三郎
〃	桜庭勝美
〃	高橋善三
〃	若松清一
〃	西村久平
〃	田中国司
〃	菅原勇治
〃	菅原一雄
〃	佐々木丈雄
〃	伊藤悦二
〃	石戸谷錦吉
〃	畠山勝蔵
〃	佐藤一男

＜市役所＞

市長	石川芳男
助役	竹内福哉
助役	山城雄三郎
収入役	栗盛周蔵
企画室長	伊藤清治
〃主査	白根定雄
〃補佐	畠山勝美
総務課長	細田成信
〃主査	岩沢吉蔵
財政課長	渡辺喜一郎
〃補佐	萩野三宏
税務課長	佐藤六蔵
〃補佐	大川修一
〃補佐	成田伝蔵
管財課長	渡辺正明
〃補佐	今一郎
〃補佐	石井景紀
市民課長	久米田宏文
市民相談室長	本多恒久
〃主査	石戸谷紀三男
〃主査	佐藤清忠
厚生課長	田村正六
〃補佐	矢吹助次
清掃課長	原田辰夫
商工課長	斎藤稔
勤労青少年ホーム館長	根本自朗
公営卸売市場長	千葉博
農林課長	牧野多門
〃補佐	釜谷繁
〃補佐	浜松和平
建設課長	田村靖紀
〃補佐	武内欣三
〃補佐	林野順一
〃補	[illegible]